

平成 28 年度

(平成 28 年 7 月 1 日～

平成 29 年 6 月 30 日まで)

事業計画書

一般財団法人 国際協力推進協会

事業の概要

1. 太平洋島嶼国開発協力事業

太平洋島嶼国の信頼関係を構築し、友好関係の一層の推進を図るため、「太平洋島嶼国開発協力基金」を活用して、太平洋島嶼国の環境、エネルギー及び観光の分野における開発協力事業として、外務省アジア大洋州局大洋州課、太平洋諸島フォーラム (PIF) 等と協議の上、次のプロジェクトを実施する。

(1)太平洋諸島大学生招待計画【継続】

太平洋島嶼国の大学生を我が国に招待して、短期間の研修を行い、我が国の環境問題等についての理解を深める。本年度はミクロネシア、パラオ、マーシャル諸島、パプアニューギニア、フィジーの 5 カ国から大学生計 8 名を招待して、上智大学において日本についての基礎講義を受講するとともに、環境、エネルギーなどの関連施設の視察を行う。

(2)太平洋記者招待計画【継続】

太平洋島嶼国の有力記者を招待して、我が国の環境保護、防災、エネルギー利用などについて理解を深め、もって我が国の現状についての広報を行う。具体的には、太平洋島嶼国 3 ヶ国から記者・編集長の 3 名及び調整役のベテラン・ジャーナリスト 1 名の計 4 名を招聘して、我が国のオピニオン・リーダーのインタビューや環境・防災・エネルギー関連施設の視察を行う。なお、本件招待計画については、諸外国の記者招待に知見のある日本フォーリンプレスセンターの協力を得て実施する。

(3)太平洋若手リーダー招待計画【継続】

昨年度好評であったが、本年度も太平洋島嶼国の若手リーダーを我が国に招待して、我が国のオピニオン・リーダーとの会談を行うとともに、環境、エネルギー、観光に関連する視察を通じて、我が国についての理解を深める。本年度はミクロネシア、パラオ、マーシャル諸島の 3 ヶ国から若手リーダー計 6 名を招聘する。

(4)環境セミナーの開催【継続】

我が国からオピニオン・リーダーを太平洋島嶼国に派遣して、我が国が取り組んでいる環境問題等につき講演を行い、対日理解を深める。本年度は、上智大学大学院地球環境学研究科教授をマーシャル諸島共和国に派遣して、同国の我が国大使館と協力して講演会を実施する。併せて、担当理事が同行し、環境、エネルギー、観光についての日・マーシャル協力を促進する。

(5)ミクロネシア大学との協力促進【継続】

太平洋島嶼国の大学と我が国大学との協力関係につき、一層の促進を図る。APICの斡旋により締結された上智大学・上智短期大学とミクロネシア短期大学の連携協定の具体策として、昨年度、上智大学側により学生の環境に関する夏季研修旅行が実施されたが、本年度も担当理事等を同行させ、協力関係を増進する。

(6)ミクロネシア短期大学の短期留学制度(麗澤大学・上智短大)【新規】

ミクロネシア短期大学の学生4名を招待し、麗澤大学及び上智短期大学において講義を聴講するとともに、本邦学生との交流、合同環境研修などを通じ、我が国及びミクロネシア連邦の大学生レベルでの交流を一層深化させる。

(7)ミクロネシア地域環境保護計画【継続】

パラオ、ミクロネシア、マーシャル諸島、グアム及び北マリアナ諸島の3カ国2地域は共通の環境政策「ミクロネシア・チャレンジ」により、生物多様性を保全し除族可能な自然資源の利用を図っている。今般、同「ミクロネシア・チャレンジ」の事務局 Micronesia Conservation Trust (MCT)より「ポンペイ州サプワフィック (Sapwuafik) 島における気候変動に対応できるコミュニティ構築プロジェクト」の支援要請があったところ、この要請に応じ支援を行う。

なお、APICは前年度、「クリーンウォーター及び生活改善プロジェクト」実施経費の支援を行っており、同プロジェクトは2016年央までに完成予定である。

(8)ミクロネシア写真展【新規】

上智大学と連携し、ミクロネシア連邦の豊かな自然、文化を紹介するための写真展を開催する。日本国内におけるミクロネシア連邦への広い理解、知名度向上を目的とし、両国文化交流の更なる促進、各種活動への支援者の拡大を図る。

2. 日・カリブ友好協力事業

カリブ諸国の信頼関係を構築し、友好関係の一層の推進を図るため、「日・カリブ協力友好基金」を活用して、カリブ諸国の環境、エネルギー及び観光の分野における開発協力事業として、外務省中南米局カリブ室、カリブ共同体(カリコム)事務局等と協議の上、次のプロジェクトを実施する。

(1)西インド諸島大学学長招待計画【繰越】

西インド諸島大学の副総長（実質的なトップ）、各分校(ジャマイカ、トリニダード・トバゴ、バルバドス)学長 3 名を我が国に招待して、我が国大学との意見交換会、環境、エネルギー、観光に関連する視察を通じて、我が国についての理解を深める。実施に当たっては、外務省及び上智大学と協力を行う。

(2)西インド諸島大学学生招待計画【継続】

西インド諸島大学各校(ジャマイカのモナ校、トリニダード・トバゴのオーガスティン校、バルバドスのケープ・ヒル校)の大学生計 8 名を日本に招待して、上智大学において日本についての基礎講義を受講するとともに、環境、エネルギーなどの関連施設の視察を行う。実施に当たっては、外務省及び上智大学と協力を行う。

実施時期は平成 29 年 1 月を予定。太平洋諸島大学生招待計画と同時に実施する。

(3)カリブ諸国記者招待計画【繰越】

カリブ諸国(ジャマイカ、トリニダード・トバゴ)の有力記者計 2 名を招待して、我が国のオピニオン・リーダーのインタビューや環境・防災・エネルギー関連施設の視察を行う。もって、我が国の環境保護、防災、エネルギー利用などについて理解を深め、我が国の現状についての広報を行う。実施に当たっては、外務省及び日本フォーリンプレスセンターと協力を行う。

(4)カリブ若手リーダー招待計画【新規】

カリブ諸国の若手リーダーを我が国に招待して、我が国のオピニオン・リーダーとの会談を行うとともに、環境、エネルギー、観光に関連する視察を通じて、我が国についての理解を深める。本年度はジャマイカ、トリニダード・トバゴ、バルバドス及びカリコム事務局から若手リーダーを招聘する。実施に当たっては、外務省及び日本国際交流センターと協力を行う。

(5)環境セミナーの開催【新規】

我が国からオピニオン・リーダーをカリブ諸国に派遣して、我が国が取り組んでいる環境問題等につき講演を行い、対日理解を深める。本年度は、上智大学大学院地球環境学研究科教授をジャマイカに派遣して、同国の大使館と協力して講演会を実施する。併せて、担当理事が同行し、環境、エネルギー、観光についての日・ジャマイカ協力を促進する。

(6)カリブ JET 環境レクチャー【新規】

我が国の各地で活躍するカリブ地域の JET プログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）参加者を東京に招待し、同地域と我が国が共通して抱える環境問題に関連した講演会を行う。初年度としてジャマイカ JET を対象とする。実施にあたっては外務省、在京ジャマイカ大使、および上智大学と協力する。上智大学大学院地球環境学研究科に講師派遣を依頼する。

(7)カリブ気象水文研究所訪日支援計画【新規】

気象水文サービスの改善及び気象水文に関する研究・啓発を行っているカリブ気象水文研究所（CIMH）の訪日に際して、国内旅費や通訳手配料などを負担するとともに、エネルギー関係企業や上智大学大学院地球環境研究科の紹介等を通してこれを支援する。

3. 国際協力に関する講演事業

(1)APIC カントリー情報早朝講演会

本件早朝講演会は、外務省幹部、在外大使による時局の日本の外交課題や激動する国際情勢などについて質の高い内容の話題を提供する講演会として、参加者から評価が高い。本件講演会は APIC が諸活動を展開する上で欠かせない事業であり、今後とも会員の期待に沿えるように毎月一回(8月を除く)企画して行く。

(2)国際懇話会

同様の外交課題・国際情勢等をテーマに小規模の懇話会(東京、及び、地方)を実施する。

(

4. 留学生奨学金事業

ザビエル高校(ミクロネシア連邦チューク州)には、ミクロネシア連邦のみならず、パラオ、マーシャル諸島の最優秀の生徒が入学する。卒業生には、ミクロネシア連邦モリ前大統領を始めとしてそれぞれの国のリーダーが輩出している。このような事情もあり、APICが上智大学と協力して開始した本件「留学生制度」については、3カ国の首脳の間で極めて高い評価が与えられている。

本件留学生協定に基づき、2014年9月より第1期生として **Mary Helen Mori**、2015年9月より第2期生として **Risa Oue** が上智大学に入学し、また、本年秋から第3期生 **Andrei Miguel Ronquillo** が同大学に入学予定である。

APICとしては今後募金活動を積極化するとともに、留学生に対する生活費等の支給を含め留学の支援を行ってゆく。